

団体名	仙台大学						
事業名	日本文化体験及び震災復興における交流活動						
実施期間	2023年11月10日-11月12日						
場 所	宮城県気仙沼（南三陸）						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	7	0	0	0	5	0	12名

<実施内容>

留学生を2011年3月11日の東日本大震災で大きな被害を負った南三陸町に案内した。実際に防災センターでは、119番で外国人が通報した際の三者対応などの体験を行った。更に地域住民と交流を行い震災当時と復興に関する話を聞くため、気仙沼市東日本大震災・伝承館を訪れ、語り部の方（地域住民）に当時の震災の様子や震災遺構として残されている「気仙沼向洋高校」の校舎内を案内していただきました。留学生に気仙沼の地域住民の方々と交流していただくために、グリーンツーリズム体験を行っているさんさん館でそば打ち体験を行って交流も行いました。

<記録写真>



東日本大震災で被害を受けた
気仙沼向洋高校



防災センター見学



そば打ち体験

<参加者からのコメント>

ゲンさん（中国・上海） / Gen (Shanghai, China)

地震や火災について知り、初めて災害の恐ろしさを感じました。私は、2011年の東日本大震災にショックを受け、悲しみました。また、このような事件を思い出し、回避する方法を学ぼうとしている数え切れないほどの人々の姿に感動し、涙を流しました。

諸葛さん（中国・上海） / syokatu (Shanghai, China)

今回の気仙沼のプロジェクトでは、火災や地震の状況を体験し、多くの知識が普及したことで、そのような状況が起きたときに冷静に対処し、的確な判断ができるようになった。翌日に東日本大震災遺構・伝承館を訪れ、大きな衝撃を受けた。津波が来たあとの廃墟を見て、悲しい映像を見て、自然の前では人間の力は小さいと感じた。そのため、遺構を通じて記憶を残し、自然を畏れなければならないと思った。また、ここ数日体験した塩づくりやそば打ちも楽しく、食べ物もとても美味しかった。この旅では、多くのことを得ることができ、とても面白い三日間を過ごした。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Sendai University
事業名	Japanese cultural experience and exchange activities for earthquake recovery